

# 【9/14赤いか速報】ソデイカ漁期前試験操業の結果等

令和4年9月13日（火）に鳥取県漁協賀露支所の清幸丸、藍丸に御協力いただき、赤いかの試験操業を行いました。結果は2.5時間で2尾（外套長51～54cm、重量3.4～6.4kg）でした。

試験操業は、東経134°09'のライン（水深135～217m）で行いました。赤いかは、いずれも水深140～160m付近の水深帯で漁獲されており、灘側での操業をお勧めします。

## ●漁況予測●

8月の長尾鼻地先水深185m地点における100m深の海水温と赤いか漁獲量との相関関係から赤いかの漁況の予測を行ってます。8月23日時点で同調査点の水温は16.79℃と平年並の水温となっており、予想される漁獲量は37トンと低い水準が見込まれます。

また、水産試験場による8月下旬の海洋観測の結果によると、対馬暖流の主流は隠岐の島西方を沖合に向けて流れており赤いかが沿岸に寄りにくい海況が続いています。

## 【その他のソデイカ情報】

兵庫県但馬水産技術センターHP「漁況情報：沿岸いか釣り漁場探索調査の結果」より、以下の情報が公開されています。

※沿岸いか釣り釣獲試験 令和4年9月12日：**釣獲尾数4尾**

調査は、134°45'（水深127～167m）、134°44'（水深128～163m）の2ラインで実施。漁獲サイズは外套長で35～53cmでした。

# 赤いか釣りのフグ対策について

8月にFAXで「調査船おしどりによる予備調査」の中で、昨年よりも今年はフグが多い、との情報を送信しました。

フグ対策として、以下のような漁具に関する情報を提供しますので参考としてください。

